

川 根 本 町

2024年11月号

図 書 室 だ よ り 11月

- ・文化会館図書室(小長井)
- ・山村開発センター図書室(上長尾)
- ・移動図書館車やまびこ号: 川根本町内6コース
- TEL: 0547-59-3106(文化会館)
- TEL: 0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間: 午前9時～午後5時
- ☆ 休室日: 月曜日・第3日曜日(17日)・祝日の翌日(5・24日)
- ☆ やまびこ号巡回6コース



かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。
 なお、年間予定表は図書室で配布しています。

新着 図書



「川根本町インターネット図書室」では
 新刊の詳しい情報や 蔵書の検索が可能です。



川根本町
 インターネット
 図書室
 ホームページ



図書だより
 クラファンバー

睡眠は健康体のベース!



文

白濱龍太郎 著
 アスコム

脱! デジタル依存



文

アペナオミ マンガ
 KADOKAWA

やりきる人生!



山

堀野智子 著
 ダイヤモンド社

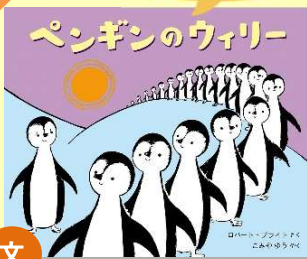
写真うつりが劇的に良くなる美映え習慣



山

松原立恵 著
 オレンジページ

自分探し



文

ロバート・ブライト 作
 好学社

ママのためにがんばる



文

柴田ケイコ さく 著
 白泉社

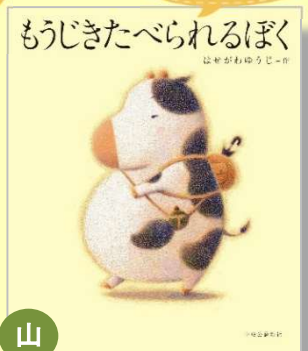
妖精しかけ絵本



山

真瀬ひかる 著
 永岡書店

食育



山

はせがわゆうじ 作
 中央公論新社

◎ 新着図書

「川根本町インターネット図書室」では新刊の詳しい情報や蔵書の検索が可能です。

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
<p>● 『マザー』 乃南アサ著 講談社</p> <p>娘が嫁いで一人残された高齢女性が、やがてマンション内で鞘当てが起きるほどに華やかに変貌していくさまを管理人の目から見た「アフェア」など、「母」という名に隠された一人の女性としての“本当”の姿を描き出す5つの短編家族小説。</p>	<p>● 『岩に牡丹』 諸田玲子著 新潮社</p> <p>鉾山の指導で秋田を訪れた平賀源内にその画才を見出され、『解体新書』の絵師に大抜擢された下級武士の小田野直武。故郷に戻って安穩と暮らしていたが、江戸出仕の密命が下る。講釈の発禁本、銀札の改定、蘭画、相次ぐ変死など、史実に基づく歴史ミステリの佳品。</p>
<p>● 『共犯の畔』 真保裕一 著 朝日新聞出版</p> <p>代議士事務所立て籠もり事件が発生、犯人2人が逮捕されるが、完全黙秘を貫く。彼らが沈黙を続ける真の理由とは？ ラストで明かされる驚愕のメッセージに読者は慟哭する！ 巨大ダムに象徴される日本の病巣を抉り出す白熱のサスペンス巨編!!</p>	<p>● 『定年物語』 新井素子 著 中央公論新社</p> <p>正彦さんが定年を迎え、さてこれからは、一緒に旅行を.....と期待していた二人。しかし、折しも世の中はコロナで自粛中。そんな中で、新たなフェーズに入った二人の生活は？ 俳句、骨董と、趣味の道をきわめる正彦さんと、日々のちょっとした生活の変化を楽しんだりする陽子さんの日常を綴る。</p>
<p>● 『百年の孤独』 G.ガルシア=マルケス 著 新潮社</p> <p>蜃気楼の村マコンドを開墾しながら、愛なき世界を生きる孤独な一族、その百年の物語。目も眩むような不思議な出来事が延々と続くが、予言者が羊皮紙に書き残した謎が解読された時、一族の波乱に満ちた歴史は劇的な最後を迎えるのだった。世界的ベストセラーとなった20世紀文学の傑作が文庫化。</p>	<p>● 『その朝は、あっさり』</p> <p>谷川直子 著 朝日新聞出版</p> <p>96歳で息をひきとるまでの20日間、家族や介護者はどのように備えるのか。誰にとってもひとしく迎える最期はどのようなものなのか。死ぬときはどうなるのか。老いと闘い。死支度。「死下手」の一茶の俳句が、認知症のお父さんを支える。見捨てない暖かさに包まれた、老衰介護看取り小説。</p>
<p>● 『ころは今日も旅をする』 五木寛之 著 新潮社</p> <p>わが心よ、道なき道を自在に往け——。私たちの人生は不条理で不平等なものだけど、それでもなお生き抜くために——。 齢九十を越えた五木寛之が、いまなお来るべき時代の足音を聴き、ころの融通無碍な在り方を問い、「ゆたかなボケかた」「運、不運の乗り越え方」等を説いていく。</p>	<p>● 『紺碧の海』 梶よう子 著 徳間書店</p> <p>八丈島生まれの留吉は、同郷の半右衛門に憧れていた。半右衛門の誘いで鳥島へ渡ると...。絶海の無人島で鳥を撲殺し、金を生み出す島へと変えた男、玉置半右衛門の壮絶な人生を描く。</p>

おすすめ図書

『子どもの脳の育て方 AI時代を生き抜く力』

いい脳は幸福の基盤

黒川伊保子 著 講談社



【いい脳の定義とは】

——いい脳の持ち主は、「幸福な天才」である。「頭もいいけど、それ以上に運がいい人」と言われる人たちだ。具体的に言うと、いつもしみじみとしあわせそうで、常に好奇心と意欲を失わず、健康で、穏やかで、温かい。おっとりして見えるのに決断は早い。集中力があり、短い言葉に説得力がある。頼りがいがある、飾らない人柄なのに、なめてかかれない威厳を持っている。いつも何かに感謝している。——

そして、そんな子どもに育てるために必要な金のルールが、**早寝・早起き・朝ごはん・適度な運動・そして読書**

なんと、昔からずっと言われてきた先人の知恵。それが、脳科学によって解説されています。ある高校の先生は、調査した教え子の、東大現役合格組の夜の学習時間の短さに驚かされたそう。皆、よく眠っているようです。

本書では、朝5時台に起床することも推奨しています。

図書室スタッフH



【山村開発センター図書室所蔵】